

消防ヘリコプターの配備状況等

消防防災ヘリコプターの配備状況（令和2年11月1日現在）

1 令和2年11月1日現在配備状況

○消防庁保有ヘリコプター

○消防機関保有ヘリコプター

○道県保有ヘリコプター

74機（44都道府県、56団体）

4機（東京消防庁、京都市消防局、埼玉県、宮城県及び高知県が無償使用）

※高知県については、令和元年東日本台風により被災し、現在復旧中

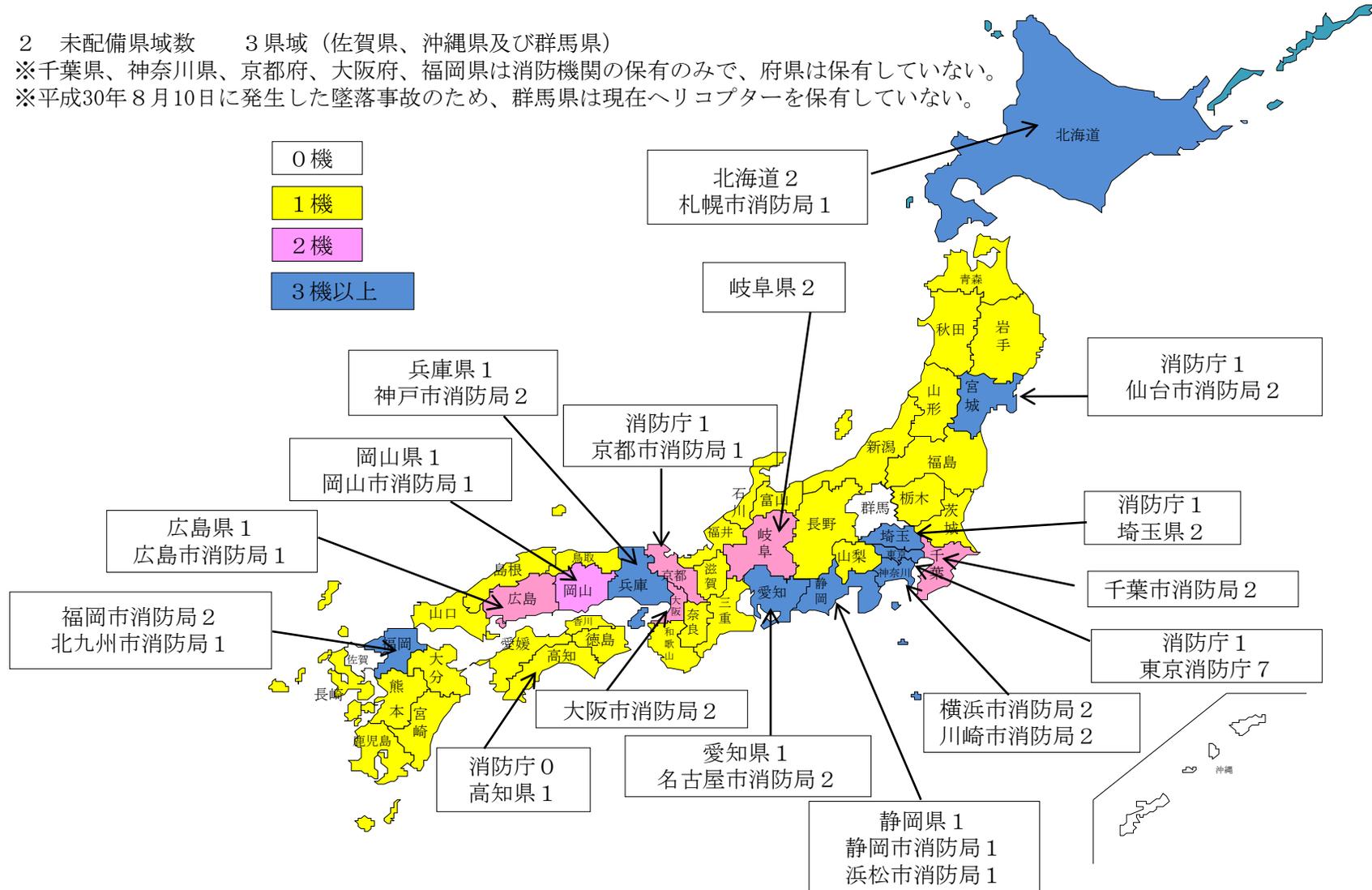
30機（東京消防庁、15政令指定都市）

40機（37道県）

2 未配備地域数 3地域（佐賀県、沖縄県及び群馬県）

※千葉県、神奈川県、京都府、大阪府、福岡県は消防機関の保有のみで、府県は保有していない。

※平成30年8月10日に発生した墜落事故のため、群馬県は現在ヘリコプターを保有していない。



消防防災航空隊 運航・操縦体制 (令和2年1月1日現在)

○ 操縦体制別

2人操縦	28団体	46機
1人操縦	28団体	28機

○ 運航体制別

自主運航	19団体	35機
委託運航	35団体	36機
混合運航	2団体	3機

<運航主体区分>

- 消防機関: 東京消防庁及び政令市消防本部が運航
- 都道府県: 消防組織法第30条第3項の規定に基づき都道府県が運航

<運航形態>

- 自主運航: 操縦士、整備士及び運航管理要員が運航団体の職員
- 委託運航: 操縦士、整備士及び運航管理要員が運航業務受託企業の従業員
- 混合運航: 操縦士、整備士及び運航管理要員に運航団体の職員と運航業務受託企業の従業員が混在

○ 1人操縦体制の運航団体

番号	都道府県	航空隊名称	運航主体区分	運航形態	運航時の操縦士数	運航機数※1
1	北海道	北海道防災航空隊	都道府県	委託	1人	2機
2	青森県	青森県防災航空隊	都道府県	委託	1人	1機
3	岩手県	岩手県防災航空隊	都道府県	委託	1人	1機
4	宮城県	宮城県防災航空隊※2	都道府県	委託	1人	1機
5	山形県	山形県消防防災航空隊	都道府県	委託	1人	1機
6	福島県	福島県消防防災航空隊	都道府県	委託	1人	1機
7	茨城県	茨城県防災航空隊	都道府県	委託	1人	1機
8	栃木県	栃木県消防防災航空隊	都道府県	委託	1人	1機
9	群馬県	群馬県防災航空隊※3	都道府県	委託	1人	0機
10	新潟県	新潟県消防防災航空隊	都道府県	委託	1人	1機
11	富山県	富山県消防防災航空隊	都道府県	委託	1人	1機
12	石川県	石川県消防防災航空隊	都道府県	委託	1人	1機
13	福井県	福井県防災航空隊	都道府県	委託	1人	1機
14	愛知県	愛知県防災航空隊	都道府県	委託	1人	1機
15	三重県	三重県防災航空隊	都道府県	委託	1人	1機
16	和歌山県	和歌山県防災航空隊	都道府県	委託	1人	1機
17	鳥取県	鳥取県消防防災航空隊	都道府県	委託	1人	1機
18	島根県	島根県防災航空隊	都道府県	委託	1人	1機
19	岡山県	岡山県消防防災航空隊	都道府県	委託	1人	1機
20	広島県	広島県防災航空隊	都道府県	委託	1人	1機
21	山口県	山口県消防防災航空隊	都道府県	委託	1人	1機
22	徳島県	徳島県消防防災航空隊	都道府県	委託	1人	1機
23	香川県	香川県防災航空隊	都道府県	委託	1人	1機
24	愛媛県	愛媛県消防防災航空隊	都道府県	委託	1人	1機
25	長崎県	長崎県防災航空隊	都道府県	委託	1人	1機
26	熊本県	熊本県消防防災航空隊	都道府県	委託	1人	1機
27	大分県	大分県防災航空隊	都道府県	委託	1人	1機
28	高知県	高知県消防防災航空隊※4	都道府県	自主	1人	1機

・2人操縦体制の導入予定について

- 赤地は令和2年度に導入又は導入予定 (5団体)
- 青地は令和4年4月までに導入予定 (15団体)
- 黄地は令和7年4月に向けて協議中など (12団体)

○ 2人操縦体制の運航団体(消防機関)

番号	都道府県	航空隊名称	運航主体区分	運航形態	運航時の操縦士数	運航機数※1
1	北海道	札幌市消防航空隊	消防機関	自主	2人	1機
2	宮城県	仙台市消防航空隊	消防機関	自主	2人	2機
3	千葉県	千葉市消防航空隊	消防機関	自主	2人	2機
4	東京都	装備部航空隊	消防機関	自主	2人	8機
5	神奈川県	横浜市消防局航空隊	消防機関	自主	2人	2機
6		川崎市消防航空隊	消防機関	自主	2人	2機
7	静岡県	静岡市消防航空隊	消防機関	自主	2人	1機
8		浜松市消防航空隊	消防機関	自主	2人	1機
9	愛知県	名古屋市消防航空隊	消防機関	自主	2人	2機
10	京都府	京都市消防航空隊	消防機関	自主	2人	2機
11	大阪府	大阪市消防航空隊	消防機関	自主	2人	2機
12	兵庫県	神戸市航空機動隊※5	消防機関	自主(共同)	2人	2機
13	岡山県	岡山市消防航空隊	消防機関	自主	2人	1機
14	広島県	広島市消防航空隊	消防機関	自主	2人	1機
15	福岡県	北九州市消防航空隊	消防機関	自主	2人	1機
16		福岡市消防航空隊	消防機関	自主	2人	2機

○ 2人操縦体制の運航団体(都道府県)

番号	都道府県	航空隊名称	運航主体区分	運航形態	運航時の操縦士数	運航機数※1
1	秋田県	秋田県消防防災航空隊	都道府県	自主	2人	1機
2	兵庫県	兵庫県消防防災航空隊※5	都道府県	自主(共同)	2人	1機
3	長野県	長野県消防防災航空隊	都道府県	混合	2人	1機
4	岐阜県	岐阜県防災航空隊	都道府県	混合	2人	2機
5	埼玉県	埼玉県防災航空隊	都道府県	委託	2人	3機
6	静岡県	静岡県消防防災航空隊	都道府県	委託	2人	1機
7	山梨県	山梨県消防防災航空隊	都道府県	委託	2人	1機
8	滋賀県	滋賀県防災航空隊	都道府県	委託	2人	1機
9	奈良県	奈良県防災航空隊	都道府県	委託	2人	1機
10	佐賀県	佐賀県防災航空隊※6	都道府県	委託	2人	0機
11	宮崎県	宮崎県防災救急航空隊	都道府県	委託	2人	1機
12	鹿児島県	鹿児島県防災航空隊	都道府県	委託	2人	1機

※1 東京消防庁、京都市消防局、埼玉県、宮城県及び高知県が消防庁ヘリを各1機運用。

高知県については、令和元年東日本台風により被災し、復旧中

※2 宮城県は、夜間2人操縦体制としている。

※3 群馬県は平成30年8月10日に発生した墜落事故のため、ヘリコプターを保有していない。

※4 高知県は、可能な範囲で2人操縦体制としている(週5日程度)。

※5 兵庫県・神戸市は共同運航。

※6 佐賀県は令和3年3月運航開始とともに導入予定

消防防災ヘリコプターの操縦士の配置状況（令和2年2月28日現在）

番号	都道府県	団体名	航空隊名称	区分	操縦士数		
					【自主運航】	【委託運航】	合計
1	北海道	北海道	北海道防災航空隊	都道府県	—	3	3
2		札幌市消防局	札幌市消防航空隊	消防機関	4	—	4
3	青森県	青森県	青森県防災航空隊	都道府県	—	3	3
4	岩手県	岩手県	岩手県防災航空隊	都道府県	—	2	2
5	宮城県	宮城県	宮城県防災航空隊	都道府県	—	4	4
6		仙台市消防局	仙台市消防航空隊	消防機関	6	—	6
7	秋田県	秋田県	秋田県消防防災航空隊	都道府県	2	—	2
8	山形県	山形県	山形県消防防災航空隊	都道府県	—	4	4
9	福島県	福島県	福島県消防防災航空隊	都道府県	—	1	1
10	茨城県	茨城県	茨城県防災航空隊	都道府県	—	2	2
11	栃木県	栃木県	栃木県消防防災航空隊	都道府県	—	2	2
12	群馬県	群馬県	群馬県防災航空隊	都道府県	—	—	0
13	埼玉県	埼玉県	埼玉県防災航空隊	都道府県	—	12	12
14	千葉県	千葉市消防局	千葉市消防航空隊	消防機関	4	—	4
15	東京都	東京消防庁	装備部航空隊	消防機関	27	—	27
16	神奈川県	横浜市消防局	横浜市消防局航空消防隊	消防機関	7	—	7
17		川崎市消防局	川崎市消防局航空隊	消防機関	5	—	5
18	新潟県	新潟県	新潟県消防防災航空隊	都道府県	—	4	4
19	富山県	富山県	富山県消防防災航空隊	都道府県	—	2	2
20	石川県	石川県	石川県消防防災航空隊	都道府県	—	1	1
21	福井県	福井県	福井県防災航空隊	都道府県	—	5	5
22	山梨県	山梨県	山梨県消防防災航空隊	都道府県	—	3	3
23	長野県	長野県	長野県消防防災航空隊	都道府県	1	2	3
24	岐阜県	岐阜県	岐阜県防災航空隊	都道府県	3	10	13
25	静岡県	静岡県	静岡県消防防災航空隊	都道府県	—	5	5
26		静岡市消防局	静岡市消防航空隊	消防機関	3	—	3
27		浜松市消防局	浜松市消防航空隊	消防機関	2	—	2

番号	都道府県	団体名	航空隊名称	区分	操縦士数		
					【自主運航】	【委託運航】	合計
28	愛知県	愛知県	愛知県防災航空隊	都道府県	—	7	7
29		名古屋市消防局	名古屋市消防航空隊	消防機関	4	—	4
30	三重県	三重県	三重県防災航空隊	都道府県	—	3	3
31	滋賀県	滋賀県	滋賀県防災航空隊	都道府県	—	4	4
32	京都府	京都市消防局	京都市消防航空隊	消防機関	8	—	8
33	大阪府	大阪市消防局	大阪市消防航空隊	消防機関	5	—	5
34	兵庫県	兵庫県	兵庫県消防防災航空隊	都道府県	7	—	7
35		神戸市消防局	神戸市航空機動隊	消防機関	—	—	—
36	奈良県	奈良県	奈良県防災航空隊	都道府県	—	3	3
37	和歌山県	和歌山県	和歌山県防災航空隊	都道府県	—	2	2
38	鳥取県	鳥取県	鳥取県消防防災航空隊	都道府県	—	2	2
39	島根県	島根県	島根県防災航空隊	都道府県	—	6	6
40	岡山県	岡山県	岡山県消防防災航空隊	都道府県	—	2	2
41		岡山市消防局	岡山市消防航空隊	消防機関	4	—	4
42	広島県	広島県	広島県防災航空隊	都道府県	—	6	6
43		広島市消防局	広島市消防航空隊	消防機関	3	—	3
44	山口県	山口県	山口県消防防災航空隊	都道府県	—	3	3
45	徳島県	徳島県	徳島県消防防災航空隊	都道府県	—	4	4
46	香川県	香川県	香川県防災航空隊	都道府県	—	4	4
47	愛媛県	愛媛県	愛媛県消防防災航空隊	都道府県	—	3	3
48	高知県	高知県	高知県消防防災航空隊	都道府県	4	—	4
49	福岡県	北九州市消防局	北九州市消防航空隊	消防機関	2	—	2
50		福岡市消防局	福岡市消防航空隊	消防機関	3	—	3
51	長崎県	長崎県	長崎県防災航空隊	都道府県	—	4	4
52	熊本県	熊本県	熊本県防災消防航空隊	都道府県	—	3	3
53	大分県	大分県	大分県防災航空隊	都道府県	—	2	2
54	宮崎県	宮崎県	宮崎県防災救急航空隊	都道府県	—	5	5
55	鹿児島県	鹿児島県	鹿児島県防災航空隊	都道府県	—	4	4

—	合計	55団体	—	104	132	236
---	-----------	-------------	---	------------	------------	------------

消防防災ヘリコプターの操縦士の年齢構成（令和2年2月28日現在）

番号	都道府県	団体名	航空隊名称	区分	操縦士数				
					60代	50代	40代	30代	20代
1	北海道	北海道	北海道防災航空隊	都道府県			1	2	
2		札幌市消防局	札幌市消防航空隊	消防機関		1	2	1	
3	青森県	青森県	青森県防災航空隊	都道府県	1	1	1		
4	岩手県	岩手県	岩手県防災航空隊	都道府県	2				
5	宮城県	宮城県	宮城県防災航空隊	都道府県	1	3			
6		仙台市消防局	仙台市消防航空隊	消防機関		2	3	1	
7	秋田県	秋田県	秋田県消防防災航空隊	都道府県		1	1		
8	山形県	山形県	山形県消防防災航空隊	都道府県		3	1		
9	福島県	福島県	福島県消防防災航空隊	都道府県		1			
10	茨城県	茨城県	茨城県防災航空隊	都道府県		2			
11	栃木県	栃木県	栃木県消防防災航空隊	都道府県		2			
12	群馬県	群馬県	群馬県防災航空隊	都道府県	—	—	—	—	—
13	埼玉県	埼玉県	埼玉県防災航空隊	都道府県		7	3	1	1
14	千葉県	千葉市消防局	千葉市消防航空隊	消防機関	1	2	1		
15	東京都	東京消防庁	装備部航空隊	消防機関		16	5	4	2
16	神奈川県	横浜市消防局	横浜市消防局航空消防隊	消防機関		1	4	2	
17		川崎市消防局	川崎市消防局航空隊	消防機関		3	1	1	
18	新潟県	新潟県	新潟県消防防災航空隊	都道府県	1	2	1		
19	富山県	富山県	富山県消防防災航空隊	都道府県	1	1			
20	石川県	石川県	石川県消防防災航空隊	都道府県			1		
21	福井県	福井県	福井県防災航空隊	都道府県	2	1	2		
22	山梨県	山梨県	山梨県消防防災航空隊	都道府県		2			1
23	長野県	長野県	長野県消防防災航空隊	都道府県			2	1	
24	岐阜県	岐阜県	岐阜県防災航空隊	都道府県	3	2	7	1	
25	静岡県	静岡県	静岡県消防防災航空隊	都道府県		3	2		
26		静岡市消防局	静岡市消防航空隊	消防機関		3			
27		浜松市消防局	浜松市消防航空隊	消防機関		1			1

番号	都道府県	団体名	航空隊名称	区分	操縦士数				
					60代	50代	40代	30代	20代
28	愛知県	愛知県	愛知県防災航空隊	都道府県	2	3	2		
29		名古屋市消防局	名古屋市消防航空隊	消防機関		2		2	
30	三重県	三重県	三重県防災航空隊	都道府県		2	1		
31	滋賀県	滋賀県	滋賀県防災航空隊	都道府県	4				
32	京都府	京都市消防局	京都市消防航空隊	消防機関		3	2	3	
33	大阪府	大阪市消防局	大阪市消防航空隊	消防機関		2	2	1	
34	兵庫県	兵庫県	兵庫県消防防災航空隊	都道府県		3	4		
35		神戸市消防局	神戸市航空機動隊	消防機関					
36	奈良県	奈良県	奈良県防災航空隊	都道府県	1	2			
37	和歌山県	和歌山県	和歌山県防災航空隊	都道府県		2			
38	鳥取県	鳥取県	鳥取県消防防災航空隊	都道府県		1		1	
39	島根県	島根県	島根県防災航空隊	都道府県		3	3		
40	岡山県	岡山県	岡山県消防防災航空隊	都道府県	1		1		
41		岡山市消防局	岡山市消防航空隊	消防機関	1	1	2		
42	広島県	広島県	広島県防災航空隊	都道府県		2	4		
43		広島市消防局	広島市消防航空隊	消防機関		1	2		
44	山口県	山口県	山口県消防防災航空隊	都道府県		1	2		
45	徳島県	徳島県	徳島県消防防災航空隊	都道府県		3	1		
46	香川県	香川県	香川県防災航空隊	都道府県	1	2	1		
47	愛媛県	愛媛県	愛媛県消防防災航空隊	都道府県		3			
48	高知県	高知県	高知県消防防災航空隊	都道府県		3		1	
49	福岡県	北九州市消防局	北九州市消防航空隊	消防機関		1	1		
50		福岡市消防局	福岡市消防航空隊	消防機関			1	2	
51	長崎県	長崎県	長崎県防災航空隊	都道府県	1	1	1	1	
52	熊本県	熊本県	熊本県防災消防航空隊	都道府県		1	1	1	
53	大分県	大分県	大分県防災航空隊	都道府県	1	1			
54	宮崎県	宮崎県	宮崎県防災救急航空隊	都道府県		3	1	1	
55	鹿児島県	鹿児島県	鹿児島県防災航空隊	都道府県		1	2	1	

—	合計	55団体	—	24	107	72	28	5
---	-----------	-------------	---	-----------	------------	-----------	-----------	----------

長野県及び群馬県消防防災ヘリの墜落事故概要

長野県墜落事故概要



- 覚知
平成29年3月5日（日）15時12分頃
（長野県警ヘリ確認）
- 発生場所、状況
 - ・長野県鉢伏山付近（松本市と岡谷市の境界付近）
 - ・訓練フライト中に墜落したもの。
- 当日の気象状況
良好：北の風2mのち北西～北東の風2m、視程10km以上
（松本空港付近13時現在）
- 搭乗者（全員死亡）
9名（操縦士1名、整備士1名、消防隊員7名）

群馬県墜落事故概要



- 覚知
平成30年8月10日（金）12時24分頃
- 発生場所
群馬県中之条町の山中（横手山付近）
- 飛行目的
「ぐんま県境稜線トレイル」全線開通に伴う山岳遭難の発生に備えた危険箇所の確認等の地形習熟訓練
- 当日の気象状況
南の風2kt（約1m/s）、天気：晴／曇り
（草津町のアメダスデータ・8時）
- 搭乗者（全員死亡）
9名（操縦士1名、整備士1名、航空隊員2名、消防本部職員5名）

事故原因（運輸安全委員会 航空事故調査報告書より）

- 本事故は、同機が山地を飛行中、地上に接近しても回避操作が行われなかったため、樹木に衝突し墜落したものと推定される。
- 同機が地上に接近しても回避操作が行われなかったことについては、機長の覚醒水準が低下した状態となっていたことにより危険な状況を認識できなかったことによる可能性が考えられるが、実際にそのような状態に陥っていたかどうかは明らかにすることができなかった。

事故原因（運輸安全委員会 航空事故調査報告書より）

- 本事故は、同機が登山道の調査のため山岳地域を飛行中、雲の多い空域に進入して視界が悪化し地表を継続的に視認できなくなったことにより、機長が空間識失調に陥り機体の姿勢を維持するための適切な操縦を行えなくなったため、山の斜面に衝突したものと考えられる。
- 視界が悪化して地表を継続的に視認できなくなったことについては、有視界気象状態を維持することが困難となる中で、引き返しの判断が遅れ、飛行を継続したことによるものと考えられる。